

か強度が要求されることで、いつの時代も基礎を作る仕事が大切だということです。それは頂上を作る仕事ほど見栄えはしないでしょうが。

もう一つ加えたいのは、研究に健康特にスタミナが大切だということです。スタミナがないと、仕事に突進することが出来ません。私の場合は、スポーツ…テニス、スキー、スキダイビングがスタミナをつけるのに役立ってくれました。現在もテニスは続けています。

—最後に現在進められている研究と今後の計画をお聞かせ下さい。—

現在 NSF の研究費を使った“Laboratory Studies of Ice Phase Microphysics”を進めています。研究の主な課題は、① Supercooled cloud tunnel measurements, ② Natural ice nucleus measurement under high supersaturation, ③ Theoretical study of ice crystal growth habit, です。また、気象制御に関係し

たものとして、過冷却霧を消す効率を最高にする研究を Salt Lake City 近辺で行い好結果を得ましたので、これを WMO のレベルで実施するよう働きかけています。これは雲物理の基礎知識の正確な応用に対して自然が見事に反応してくれた数少ない例で、ユタ州では間もなく実用へ向かう予定です。そのほか、ニュークリエーションの基礎理論の根本的な問題を掘り起こしていますし、それに関して自然科学の基本原則を熱力学と統計力学で検討しています。

福田教授の実験装置は実によくデザインされており、それを支える製作技術は職人のように確かかつ科学的根拠に基づいている。この実験室にすぐくっついてワークショップがあり、ほとんどの材料、工具がよく揃い分類・整理されていて、アイデアをすぐに具体化できるようになっているのに感心した。

(水野 量)

---

## MSJ BBS のデータベースに気象集誌 (JMSJ) 論文一覧を収録しました

気象学会 パソコン通信 (MSJ BBS) では、この度データベースとして、気象集誌 (JMSJ) 掲載論文を収録しました。

当ボードには現在1985年から1991年までの気象集誌 (JMSJ) 掲載論文の著者名、タイトル、掲載巻号、ページをサブジェクト・インデックス形式で収録しています。今後とも逐次追加収録していく予定です。どうぞ

御利用下さい。

BBS ホスト局の電話は、03-3813-7844 (24時間運営、年中無休)。通信速度は 300/1200/2400 bps で、MNP が利用できます。他の通信パラメータは、(ビット長 8 ビット、パリティなし、ストップビット、1 ビット、全二重、XON/XOFF 制御あり、SI/SO 制御なし) となっています。




---

## 坂上 務会員受賞

九州大学名誉教授坂上 務先生は、大気保全行政の推進に貢献されたことに対して、環境庁長官より表彰されました。過日、九州大学農学部で記念講義を行い、

学生と地球環境問題について活発に議論を展開され、健在ぶりを示されました。

(九州大学農学部 小林哲夫)